

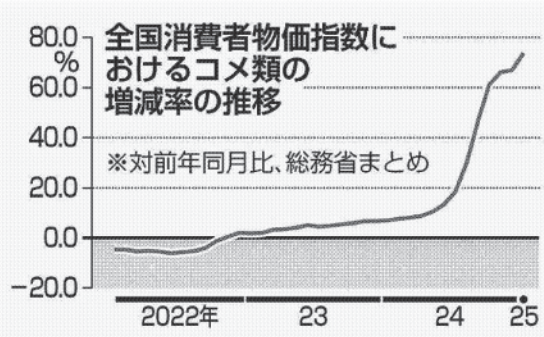


小学校6年生
（）中学校1年生向け
年組

コメ70%急騰過去最大

1月物価3.2%上昇

生鮮食品高値水準
20年ぶり



品目	前年同月上昇率
コメ類	70.9%
キャベツ	約3倍
ハクサイ	約2倍
トマト	43.1%
ミカン	37.0%
チョコレート	30.8%
国産豚肉	6.6%

1月の全国消費者物価指数で値上がりが目立った主な食品

総務省が21日発表した1月の全国消費者物価指数で、コメ類が前年同月比70・9%急騰し、4カ月連続で過去最大の伸び率を更新した。生鮮食品は2004

年以来、約20年ぶりの高水準となり、キャベツは約3倍だ。生鮮食品を除く全体の指数（20年＝100）も109・8と3・2%上昇し、23年6月以来1年7カ月ぶりの伸びとなった。家計の負担増は明らかで、歴史的な物価高が日銀の追加利上げの判断に影響する可能性もある。

（11面に関連記事）

コメ類は昨夏からの品不足や生産コスト増を背景に、比較可能な1971年1月以降の過去最高を昨年10月から更新している。コメ類の高騰に伴い、おにぎりが9・2%上がった。政府は今月、価格抑制を狙い備蓄米放出の手続きに着手した。

円安進行で輸入品の牛肉や豚肉、チーズの値上がりにつながった。

エネルギーは10・8%上昇。政府の補助金が縮小されたガソリンが3・9%伸びた。政府の補助がなくなった電気代は18・0%、都市ガス代は9・6%上昇した。

原材料費の高騰でチョコレートは30・8%、国産品の豚肉は6・6%それぞれ伸びた。人手不足の深刻化もコスト増を助長しているとみられる。

菜は前年同月比36・0%上昇した。ハクサイは約2倍、トマトも43・1%と急騰。ミカンは37・0%上がった。

生鮮食品とエネルギーを除く総合は2・5%の伸びだった。

今回の結果を受け、市場で日銀の早期利上げ観測が高まりそうだ。

設問

【1】値上がりの原因について、記事に書かれている内容を、以下の表に整理しました。空欄に当てはまる言葉を、記事の中から選んで答えましょう。

品目	値上がりの原因
コメ類	昨年夏からの(①)、生産コスト増
生野菜	(②)による収穫への影響
輸入牛肉や豚肉、チーズ	(③)の進行
チョコレート、国産豚肉	(④)の高騰、人手不足の深刻化
エネルギー(ガソリン・電気)	政府の(⑤)の縮小・廃止

【2】記事の「1月の全国消費者物価指数で値上がりが目立った主な食品」の表を見ながら花子さんと太郎

さんが話し合っています。空欄に入る適切な言葉や数字を答えましょう。

七つの食品の中で最も上昇率が高いのはキャベツで、約3倍にもなっているね。

そうだね。3倍といったら、1玉130円のキャベツが(①)円になるということだね。

コメについては、値上りを抑えるために、政府が(②)を放出するというテレビニュースもあったね。

コメは約70%の上昇率だから、5キロで2,000円のコメが(③)円になっているということか…。

私がお気に入りのミカンは37%の上昇率だから、一袋(④)円のミカンは548円になっているということだね。